

極秘

取極注意

製林評表

昭和十九年十二月二十日

閣下

第八十六回帝國議會資料報告
(常設ノ部)

在上海大日本帝國大使館事務所



目次

第一章	總務室
第一節	館外下ノ連絡
第一項	上海軍官連絡會議
第二節	上海方面政務推進會議
第二項	重要施策
第一項	概説
第二項	決戰經濟施策
第三項	全國商乘統制總會關係
第四項	江北綜合研究所ノ改組
第三節	重要經濟團體ノ指導監督
第一項	中支那振興株式會社ニ對スル指導監督
第二項	中支那振興株式會社關係台辦會社調整概況
第三項	中華日本貿易聯合會
第四節	物動交易計劃
第一項	物動計劃

第五項	第四項	第三項	第二項	第一項	第三節	第二節	第一節	第九項	第八項	第七項	第六項	第五項	第四項	第三項	第二項	第一項	第五節	第四節	第三節	第二節	第一節	第七項	第六項	第五項	第四項	第三項	第二項	第一項	第二章	第一章	第二項	第一項	第六節	第五節	第四節	第三節	第二節	第一節	第五項	第四項	第三項	第二項	第一項	
電氣通信事業關係	郵政關係	放送關係	陸運關係	海運關係	交通運輸關係	重要事項三關係將來ノ方針及新方策要領	從來ノ主要ナル業務概要	理財關係	勞務事情概況	農產關係概況	製鐵事業概況	中文ノ鑛業概況	水道事業概況	瓦斯事業概況	電氣事業概況	交易計劃	報道班關係	宣傳啓蒙關係	新國民運動關係	情報關係	調查班關係	概説	緊急要點調査關係	調查實施狀況	資料關係	敵產班關係	舊敵產(重慶系財產)	新敵產(英米等敵國系財產)	經濟部	產課關係	中文那振興株式會社事業概況	中文生産増強本部概況	概説	調查班關係	情報關係	新國民運動關係	宣傳啓蒙關係	報道班關係	交易計劃	第五節	第四節	第三節	第二節	第一節

第六項	第五項	第四項	第三項	第二項	第一項	第一節	第六項
防諜業務	在留邦人ノ思想動向ト之カを縮	管下治安關係業務概況	警察官ノ生活狀況	警察官ノ職務概況	管下警察陣容	警務課關係	氣象警備係
							行政課關係
							管内邦人入口
							民衆民會概況
							在支邦人ノ兵戰體制ニ關スル件
							録成關係
							文藝關係
							厚生關係
							警務課關係
							管下警察陣容
							警察官ノ職務概況
							警察官ノ生活狀況
							管下治安關係業務概況
							在留邦人ノ思想動向ト之カを縮
							防諜業務

以上



昭和十四年三月十日興亞院連絡部官制ニ據リ設置セラレタル興亞院華中連絡部ハ舊新政府管轄區域ニ於ケル政治經濟文化ニ關スル業務ヲ遂行シ來リタル處昭和十七年十一月一日大東亞省設置セラレタルニ及ビ從來ノ外務省現地事務所ノ發展の統合實施セラレ在上海大日本帝國大使館事務所ニ改組セラレ之ヲ長タル上海駐在公使ハ在支大使ノ指揮監督ノ下ニ蘇浙皖三省開ニ於ケル大東亞省所管事項ノ處理ニ任ジ且中支那振興株式會社ノ現地ニ於ケル業務ノ監督及ヒ邦人行政事務ニ付テハ中南支領事ヲ指揮監督スルコトトナリタリ。八月ニ至リ廣東大使館事務所設置セラレ從來營業事務所長ノ指揮監督下ニアリタル南支ニ於ケル邦人行政事務ハ之ニ移管セラレラルコトトナリタルニ他方從來在支大使ノ直轄下ニアリタル漢口九江徐州各總領事及海州領事ハ新ニ營業事務所長ノ指揮監督下ニ入ルコトトナリ十八年末ニ於ケル管下公館ハ上海（分室）南通、寧波（南京）分室揚州（蘇州）（分室）無錫。常州（杭州）（分室）金華（漢口）九江各總領事館。蕪湖（分室）安慶（海州各總領事館ナリ）ニ設置當初ハ公使ノ下ニ官房。總務。司政。經濟。財務。文化ノ一房五部制トシ總務部ノ下ニ第一課（綜合政策

ノ企画立案部内行政ノ調整）第二課（對華政務及調査）第三課（涉外情報宣傳）ノ二課司政部ノ下ニ行政。警務。練成ノ三課。經濟部ノ下ニ第一課（商工。物産。都市建設）第二課（交易。物價。勞務。中支那振興會社關係業務）第三課（長林）第四課（交通。通信）ノ四課。財務部ノ下ニ金融。財政。監査ノ三課力實カレ別ニ總務部長ノ下ニ審議室ヲ設置セリ。翌昭和十八年一月對華新方針決定セラレ出先機關ノ綜合的機能ノ發揮並業務ノ簡素化ヲ要望セラレ本事務所ノ第一次機構改革力斷行セラレト共ニ軍務務機關業務ノ引繼反對支期待物費取得業務ノ適正ナル運營ヲ圖ル爲メ管下公館ノ補充強化ヲ實施セリ本改革ハ事務ノ競合ヲ避ケ各種機關ノ合理的運營ヲ促進セシムルコトヲ目的トシ公使ノ下ニ官房審議室ノ外總務。司政。經濟ノ三部力實カレ總務部ニ總務。情報調査。報道。文化ノ四課。司政部ニ行政。警務。練成ノ三課。經濟部ニ企画。商工。長指揮下ニアリタル審議室ハ公使ニ直屬スル最重要政策ノ審議立案ノ補充機關トナルト共ニ文化部關係事務ノ大部ノ支大總管及財務部ヲ解消經濟部ニ統合セシメ以テ一收政經濟政策ト金融財政政策トノ綜合的運營ヲ斯シタリ之ニヨリ昭和十五年六月以來上海ニ設置セラレタル大藏

省ノ駐華使館官制ハコトニ廢止ヲ見タリ
其後同年十二月一日經濟關係事務ノ強化擴充ヲ目標ニ再ビ機構ヲ改革シ公
使ノ下ニ官房・總務・室ノ外司政務・經濟第一・第二・第三・第四ノ四官ヲ置キ司
政務ニ行政事務ノ二課・總務第一・第二ノ二課・交通ノ二課・經濟第二部ニ
農務理財ノ二課ヲ設ケ總務室ニ調査・報道・勸業ノ三課ヲ附屬セシメ公
使直屬機關トシテ新設サレタル總務室ハ本官務所ノ中樞機關トシテ各部
課ト有機的連繫ノ下ニ重要施策ノ圓滑ナル運轉ヲ期スルコトトナレリ
本年六月十三日戰局ノ推移ニ鑑ミ決戦體制ヲ強化確立スル爲當所ノ編成
ヲ簡素化シ余力ヲ地方公館ノ擴充ニ充ツル爲旨ニテ第二次機構改革
ヲ斷行セリ
即チ從來經濟ノ第一・第二・第三・第四ノ四官ヲ稱シ名稱ヲ經濟部トシ鑛工・農務ノ兩
課ヲ合シテ產業課トシ經濟部ニハ副部長・經濟部各課ニハ副課長ヲ置キ專
務處長ノ就一團消ヲ期スルコトトシタリ。右ニヨリ現在機構ハ官房・總
務室・司政務・總務第一・第二ノ一房一室ニ部トナリタル次第ナリ（后記在上海大
日本帝國大使館事務分掌規程參照）尙地方公館ニ對シテハ六月十
二日付ヲ以テ高等官十五名・判任官二十六名・承命職務ノ形式ヲ以テ夫
々出張ヲ命ジ其ノ成績ヲ檢討シ所要ノ調整ヲ加ヘタル上。九月一日附ヲ

以テ其ノ殆ント全部ニ付轉勤ノ風氣ヲ了シタリ本改革ハ本館内ノ機構及
業務ヲ更ニ一段簡素強力化スルト共ニ多數要員ヲ派遣シテ管下公館ノ機
能充實ト決戦體制ノ整備確立トヲ圖クテ以テ軍ニ緊密ニ協力ノ能ヲ集クル
ト共ニ國民政府地方政治力ノ浸透ニ即應セシムルコトヲ眼目トセリ
本改革ハ改革ノ對象ヲ內閣ニ止メス。廣ク地方ニ及ボシ就中地方生産ノ
増進・收買効率ノ向上ヲ企圖セリ更ニ其旨管下公館ニ於テハ分室以下ハ
概ネ各部及總務處・領事館中一部ハ軍運給糧ト同一無物内ニ於テ職務
シ然テサハモノニアリテ千人自ノ派遣・定期不定期ノ會合ヲ屢次行ヒツ
ツアリテ軍ヘノ緊密ナル協力國民政府ヘノ諸交渉ノ步調統一並協力ナル
支援ニヨル大東亞戰爭完遂任務ニ萬慮懸ナキヲ期シツ。アリ

在上海大日本帝國大使館事務所分掌規程 (昭和十九年六月十二日(第十六號)施行) 同 年六月十二日施行

官房

- 第一條 在上海大日本帝國大使館事務所ニ官房 總務室 司政部及經濟部ヲ置ク
- 第二條 官房ニ於テハ秘書、庶務、人事、文書、會計及電信ニ關スル事務ヲ掌ル
- 第三條 官房ニ秘書係、庶務係、人事係、文書係、會計係及電信係ヲ置ク

(秘書)

- 第四條 秘書係ニ於テハ左ノ事項ニ關スル事務ヲ掌ル
 - 一 事務所長ノ秘書
 - 二 機密
 - 三 儀式、典禮及接待
- 第五條 庶務係ニ於テハ左ノ事項ニ關スル事務ヲ掌ル
 - 一 課内取締及訪談

(庶務)

(人事)

- 二 警防
- 三 宿直
- 四 職員ノ厚生福利
- 第六條 人事係ニ於テハ左ノ事項ニ關スル事務ヲ掌ル
 - 一 官吏其ノ他職員ノ進退及身分
 - 二 昇給及増給
 - 三 役位、敘勳及褒賞
 - 四 恩給
 - 五 文官賞賜
- 第七條 文書係ニ於テハ左ノ事項ニ關スル事務ヲ掌ル
 - 一 文書ノ授受、配布及號送
 - 二 文書ノ檢査及進達
 - 三 裝幀、譯
 - 四 公文書類ノ整理、編纂及保存

(文書)

(會計)

- 五 記録・統計
- 六 圖 表
- 第八條 會計係ニ於テハ左ノ事項ニ關スル事務ヲ掌ル
 - 一 決算及決算
 - 二 前渡金ノ出納及支拂
 - 三 歳入・歳出外ノ現金出納
 - 四 物品會計
 - 五 収 入
 - 六 營 善
 - 七 國有財産
 - 八 契 約
 - 九 會計検査
- 第九條 電信係ニ於テハ左ノ事項ニ關スル事務ヲ掌ル
 - 一 電信ノ受収・配布及發送

(總務室)

- 二 暗號ノ組立及翻譯
- 三 暗號書ノ保管
- 第十條 總務室ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル
 - 一 重要施策ノ企畫・總括
 - 二 館内事務ノ總括
 - 三 重要施策ニ關スル館外トノ連絡
 - 四 編制及行政考査
 - 五 對支政務(涉外・條約及文化ヲ含ム)
 - 六 重要經濟團體ノ指導監督
 - 七 物動交易計畫
 - 八 報道・情報
 - 九 調 査(思想ヲ含ム)
 - 十 敵産及特殊財産
 - 第十一條 總務室ニ在支大使館情報部ノ分室タル報道班並ニ



調査班及敵産班ヲ置ク

(報道班) 第十二條 報道班ハ左ノ事項ニ關スル事務ヲ掌ル

- 一 情報蒐集及整理
- 二 宣傳、啓蒙(放送、映畫、演劇、音樂、文藝、美術ヲ含ム)

(調査班) 第十三條 調査班ハ調査(思想ヲ含ム)ニ關スル事務ヲ掌ル

(敵産班) 第十四條 敵産班ハ敵産及特殊財産ニ關スル事務ヲ掌ル

(司政班) 第十五條 司政班ハ於テハ神社並ニ邦人ノ教育、厚生、文化、鎮成及保衛取締ニ關スル事務ヲ掌ル

第十六條 司政班ニ行政課及警務課ヲ置ク

(行政課) 第十七條 行政課ニ於テハ左ノ事項ニ關スル事務ヲ掌ル

- 一 神社
- 二 邦人ノ宗教

三 民間社會其ノ他邦人ノ公共團體

四 在外指定學校、邦人經營ノ學校

五 文化、厚生、社會學業

六 邦人ノ鎮成、啓蒙及體育

(警務課) 第十八條 警務課ニ於テハ左ノ事項ニ關スル事務ヲ掌ル

一 警察ノ編制、人事及訓練

二 特高

三 行政警察及司法警察

四 邦人ノ兵學

(經濟部) 第十九條 經濟部ニ於テハ鑛産、工業、農産、林産、水産

鑛産、交易、勞務、運輸、通信及金融ニ關スル事務ヲ掌ル

第二十條 經濟部ニ警務課、交通課及理財課ヲ置ク

(産業課) 第二十一條 産業課ニ於テハ左ノ事項ニ關スル事務ヲ掌ル

(交通課) 第二十二條 交通課ニ於テハ左ノ事項ニ關スル事務ヲ掌ル

- 一 航 運
- 二 道 船
- 三 運 送
- 四 航 空
- 五 通 信
- 六 氣 象

(理財課) 第二十三條 理財課ニ於テハ左ノ事項ニ關スル事務ヲ掌ル

- 一 金融、通貨及財政

- 二 國際收支
- 三 銀行、取引所、兩替商、保潔會社、信託會社及無盡會社ノ指導監督及貸出
- 四 邦人企業ノ資金調整
- 五 經濟規制、實地検査
- 六 公債借化、貯蓄奨励
- 七 積立金、諸借款金及基金ノ管理

第二十四條 總務室ハ參事官、現役官人タル調査官並ニ官房長及產業課長タル書記官ヲ以テ構成シ事務所長之ヲ統御ス

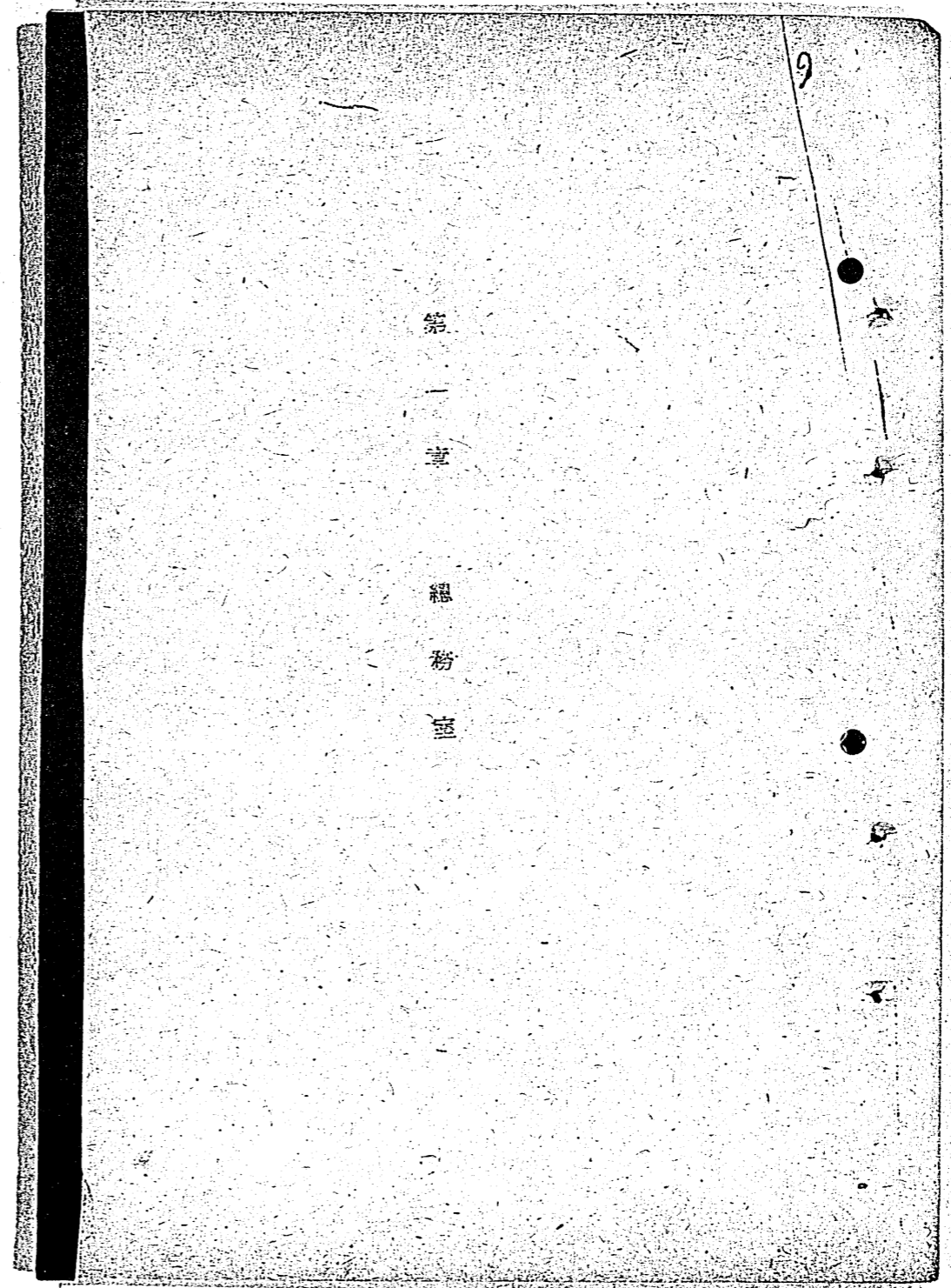
總務室ノ事務ヲ處理セシムル爲所要ノ人員ヲ配屬ス

總務室ニ於ケル事務處理ノ統一ハ參事官一名ヲシテ之ニ當ラシム

第二十五條 官房ニ官房長ヲ司政課ニ部長ヲ、經濟課ニ部



長及副部長ヲ置キ事務所長之ヲ命ス
官房長並ニ部長及副部長ハ事務所長ノ命ヲ承ケ其ノ主務ヲ
掌理ス
第二十六條 内政部各課ニ課長ヲ、經濟部各課ニ課長及副課
長ヲ、總務室各課ニ課長ヲ置キ事務所長之ヲ命ス
課長及副課長並ニ班長ハ上司ノ命ヲ承ケ主務ヲ掌理ス



REEL No. A-0552

0208

アジア歴史資料センター

第一節 館外トノ連絡

第一項 上海軍官連絡會議

上海軍官連絡會議ハ主トシテ中支全般ニ於ケル中國側ニ對スル政治、經濟、文化等ノ聯繫ニ關スル日本側各機關事務當局者間ノ連絡ヲ強化シ各機關ノ中國側等ニ對スル步驟ヲ統一スル目的ヲ以テ昭和十九年二月四日設置セラレ大使館上海事務所世話役トナリ海、陸、憲代表ノ出席ヲ求メ尙必要ニ際シ經濟顧問及商統會内邦人職員等ニモ出席方ヲ要請シ毎週開催シ十月二十七日迄三十八回ニ及ビ多大ノ成果ヲ收メ來リタリ然ルトコロ情勢益々緊迫セルニヨリ十月十日陸軍部、海軍部、陸隊、ト大共同決定ニヨリ對シ海方面緊急措置實施要領ニ基キ上海方面政務推進會議ノ幹事會トシテ發願的解釋ヲセリ尙要地ニ在リテ兵團參謀長、連絡部長、憲兵隊長、總領事(必要ニ應シ省經濟顧問ヲ加フ)ヲ以テ首腦部會議ヲ構成シ主トシテ省政府以下ノ中國側ニ對スル諸交渉連絡、調査、好意的支援等ニ關スル日本側各機關ノ協同統一ヲ圖リツツアリテ之亦多大ノ實際ヲ擧ケツツアリ

第二項 上海方面政務推進會議

對華緊急措置要領ニ根據シ上海方面ニ對スル緊急措置トシテ陸海軍ノ協力ナル支援ノ下ニ軍官民一體トナリ物資ノ生産並ニ消費ニ主力ヲ注スルト共ニ戰局ノ推移ニ鑑ミ萬一●事變ニ備ヘ必要ナル準備ヲ完成スルニトナシ之カ爲メ本年十月上海方面政務推進會議設置セラレ之ニ附屬シ補助機關トシテト海方面政務推進會議幹事會ヲ毎週一回開催スルコトトナレリ政務推進會議ハ陸海軍ニ於テ大使館ヲ強力且積極的ニ支援シ以テ其ノ全能力ヲ揮ニ遺憾ナカシムルト共ニ其ノ業務ヲシテ陸海軍ト作戦準備トノ要求ニ吻合セシムルタメ陸海軍ノ最高主幹者ヲ以テ構成シ政治經濟施策ノ一元的強力且迅速ナル遂行ヲ期セントスルモノナリ

(一) 陸

陸軍部陸軍參謀長、陸軍部長、支那方面陸隊參謀副長、在シ海軍司令部公使
所與ニ應シ他ノ機關ノ參加ヲ求ムルコトヲ得

(一) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(二) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(三) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(四) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(五) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(六) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(七) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(八) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(九) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(十) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(十一) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(十二) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(十三) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(十四) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(十五) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(十六) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(十七) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(十八) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(十九) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(二十) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(二十一) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(二十二) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(二十三) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(二十四) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(二十五) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(二十六) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(二十七) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(二十八) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(二十九) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(三十) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(三十一) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(三十二) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(三十三) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(三十四) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(三十五) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

(三十六) 海方面ニ於ケル政治經濟文化其ノ他ノ事項ニシテ必要ト認ムルモノニ付審議決定シ之カ實行ヲ推進ス

第二章 重要施策

第一項 概説

現下ノ中支經濟ハ幾多ノ難問障礙山積セルカ之ヲ如何レモ大東亞戰爭完遂ノ爲メ戰力増強目的遂行途上生起シ來リタルモノニ外ラス、本事務所ノ重要施策モ亦此ノ大目的ニ治ヒ具體的ニハ現下ノ決戦段階ニ即應スル對日寄與並ニ東亞自治戰態ノ實現ヲ方針トシテ進メラレアリ以下本年度中支經濟ノ大凡其ノ方向ト之ニ對スル重要施策ヲ概説ス

一 對日寄與

先ツ第一ニ籌ケラルヘキハ鐵礦石ト棉花ニシテ次テ鑛石、滿鐵、龍岡性油、原油以下種々ナル戰時物資アリ、鐵礦石生産ハ前年度ハ前年度並ニ比シ低下シタルモ昭和十九年度目標ハ大體遂行可能ト見込マレ、鑛石及ヒ滿鐵亦同様ナリ、之ニ對日供給地ニ支那ハ治安ノ現況下漸々困難ニ遭シツツモ凡ユル條件ヲ考慮シテ對日寄與ヲ促進セルモノナリ、本棉花年度ハ生産量一五〇萬担ノ目標ノ下ニ枚員目標達成ヲ決定シ、約六割ヲ對



日軍給ニ振興クヘク豫定シ之カ收買與領ヲ策定シアリタルトコ
ロ時期遅延、治安等ノ關係ヨリ收買可能量ハ〇萬噸ハ減額シツ
ツアルモ絶對必要量トシテ關係スヘク努力中ナリ

ニ他地域寄與

中支ハ或ハ北支、南支ニ或ハ又滿洲其ノ他ノ大東亞共榮圈内各
地域ニ對シテ主トシテ鐵雜製品食料品等ノ重要物資ヲ供給シ以
テ迂回的方法ニ依リテ我國戰力ノ増強ニ資シツツアリ、又朝鮮
滿洲、臺灣ヘ工作機械其ノ他機械器具ノ輸出ニ對シ
テ協力シ寄與シツツアル外北支ニ對シテハ淮海省地區ニ於ケ
ル今年度小麥收買量全量ハ二十萬噸ノ豫定一ヲ我與スヘク豫定
シアリ



三軍ノ作戰及自活物資、資材、勞力ノ現地調辦
 本年度ニ於テハ一方大規模ナル大陸作戰ノ展開アリ他方對日依
 存益々困難トナレシル實狀ニ伴ヒ調辦ハ急激ニ而モ全面的ニ増大
 シアリテ工場、輸送、能力ノ大部ヲ擧ケテ軍關係ハ切滌フル措
 置ヲ講シ軍需ニ充當シアリ、他面軍關係ノ現地支出並物資ノ蒐
 買資金放出ニ伴ヒ更ニ物價ノ急激ナル昂騰ニヨリ通貨流通量ノ
 増大シツツアル影響ヲモ考慮シ通貨膨脹抑制ノタメ銀行等貸出
 ノ嚴重ナル制限貯蓄ノ獎勵始メ各般ノ措置ヲ講シツツアリ米資
 金以外ノ蒐買資金放出ノ制限ヲ始メ現札不足ノ暫定措置等ニ付
 テモ充中ナリ
 又對日交易關係ニ於テ中支ヨリノ輸出額或ハ重要物資ノ還送
 額カ増大スルニ反シ日本ヨリノ輸入カ諸般ノ事情ヨリ甚シク減
 少スルタメニ生スル不均衡狀態ニ對シ各種ノ調整策ヲ講シツツ
 アルモ成果充分ナラズ通貨發行高ノ激増流通速度増大ノ反面農産物
 蒐買ノ困難一般工業生産ノ減退一般輸送ノ激減商品ノ依然タル
 囤積等ニヨリ物價ハ猛烈ナル騰貴ヲ示シツツアリ(詳細第二章
 經濟部第二項理財課關係參照)本年一月初ヨリ十月中旬マテノ

九ヶ月餘ノ間ニ白米ハ五、八倍ノ騰貴ハ五、四倍、煙草ハ八、
 ○倍、金條ハ六、七倍ニ騰貴シ其後ニ騰勢ハ依然持續シ斯クテ
 價格及ヒ貴銀等ノ問題ニ關シテハ今モ大部分ノ面ニ於テハ好
 ム不好マサトニ拘ラズ實際上高物價ニ追隨セリニ至ル共ニ
 物價ノ急角騰上騰中支經濟ニ全面ニ巨ツテ甚シク混亂ノ資
 シ斯ル惡條件ハ更ニ問題ノ解決ヲ一層困難ナラシメツツ
 四刻下特ニ中支經濟維持強化ノタメ最モ重大ト目セラルル問題ハ
 米、石炭(電力)輸送ノ三問題ニシテ之ノ情勢及對策次ノ如シ

(一)米
 昨十八米穀年度ニ於ケル米ノ統制蒐買實績ハ計畫最六六万噸
 ニ對シ本年八月末迄ハ約二二万噸即チ計畫ノ三分ノ一ニ過キ
 又之カ爲メ五月ニハ米糧統制委員會幹部ノ總辭職行ハレタリ
 上海ニ於ケル米價ハ五月ヨリ六月初ニカケ大暴騰ヲ惹起シ一
 方米糧蒐買量ノ甚シイ不足ノ結果上海市民ニ對スル食米配給
 ハ本年五月以降七月迄停止サレ上海ノ一般民食ハ自由搬入ニ
 ヨリ漸ク維持シ來リ其後米價ハ特別軍用米ノ一般向ケ融通其

他ノ緊急措置ニモヨリテ暫時落着キ状態ヲ見セ八月中心ノ如キ
ハ大体九千元見當ニ迄低下セシモ最近ニ至リ新米買付促進ノ
爲メ上海へノ一人八千口以上ノ自由輸入ノ再制限ト前後シテ
投機業者ノ暗躍、敵方擾亂行爲、流音等加ヘル米價ハ再ヒ騰
勢ニ移リ仲秋節以來ノ物價ノ全面的暴騰ノ傾向ト合流シ二万
元ノ見當ニ迄狂騰シタルカ更ニ十二月ニ入り買付困難ノ見透
ミンドロ島敵米上陸等ニ關シ奸商ノ暗躍、惡質「デマ」ノ橫
行スルトコロトナリ三万、五万、六万ト幾何級數的高騰ヲ見
セ前途憂慮スヘキモノアリタルトコロ日華當局ノ緊急措置ニ
ヨリ三万圓程度ニ低落シタルカ今後モ尚此種策動ハ警戒ヲ要
ス

本年米作柄ハ平年作ト見ラレ米糧買付計畫量ハ五十四萬噸ト策
定シ米統會ノ機體ノ整備強化ヲ圖リツツ九月以來新米買付ヲ
開始セシモ最近ノ米價急騰ニヨリ至急措置ヲ必要トセラレル
ニ至レリ

(二) 石炭問題

五十萬噸程度ナリシカ學變動發後ノ一時的經濟混亂期ヲ經過
シ再ヒ急變前ノ水準ニ接近シツツアリタリ、大東亞戰爭勃發
以來深刻ナル船腹不足ノ爲昭和十七年四月以降從來主トシテ
海上輸送ニヨリタルモノノ陸運ニ轉換セルモ十八年度初頭以
來北支炭ノ内地向増送等ノ原因ニヨリ中支ニ於ケル石炭入荷
ハ俄ニ減少シ察テ同年十月ニハ石炭飢饉ノ兆ヲ呈スルニ至リ
タル爲メ重點的配給ヲ遂旨ニ基キ瓦斯二割、電力三割、一般
産業六割ノ消費規正ヲ實施セリ

本年度物動計畫ニ於テハ北支炭ノ對中支供給量ハ總計二四〇
萬噸、民需炭約一八二萬噸ト決定サレタカ本年三月以降新
作戰ノ開始セラレルヤ津浦線ノ輸送狀況力軍關係輸送ノ輻轉
ト共ニ瀕ル困難トナリ中支ニ於ケル石炭事情ハ著シク惡化シ
之ニ對シ極力對策ヲ講シタルモ華中鐵道ノ輸送力ノ隘路ニヨ
リ却テ逐月減退シ加フルニ當時淮南炭鐵ノ出炭情況モ計畫ニ
遙カ及ハス新クシテ石炭事情ハ愈々逼迫ヲ告クルニ至レリ
以テ八月以降石炭ノ超重點配給、電力消費規正ノ再強化、石
炭確保措置ヲ講シタリ

以上ノ如キ石炭ノ極端ナル不足ハ中支ノ重要産業ニ對シテモ
甚カキサハル惡影響ヲ及ホシ電力ノ供給低下ヲ避シテ各種工業
部門ノ生産延イテハ民生ニモ深刻且廣汎ナル影響ヲ與ヘツツ
アルニ鑑ミ應急處置トシテ輸送方面ニ於テハ十月一日ヨリノ
華俄煤由ノ中支向ケ北支炭石炭ノ軍費輸送放力實施セラレ實
績尚好轉シツツアリ又其他大運河ニヨリ輸送ノ放力ニヨリ海
上輸送等ノ方法モ講セラレツツアリ他方淮南炭鐵ニ對シ軍官
共同ノ監督ヲ行ヒ之ヲ鐵路打撃ニ關リ出炭ハ上昇シ計量最以
上ニ及ヒテリ又中國側民生安定ノ見地ヨリ土法炭ノ出炭促進
ノ爲メ中支全境ニ亘ル炭山調査ヲ發隊亞中兩側ト共同實施
シ貯炭ノ輸送資材資金ノ手當ニヨリ増産ノ有望炭由ノ新設開
鑿等ノ實行ニモ可成ナルモノヨリ着手中ナリ
更ニ近ク中支地區石炭量ノ確保並徐州地區電力ノ補充強化
圖ル爲柳泉炭鐵及徐州地區電力事業ヲ可及的迅速且團滑ニ北
支ヨリ中支ニ移管スル如ク之ヲ措置兼進中ナリ
電力ニ付テハ石炭事情ノ惡化ニ伴ヒ昨年十二月ヨリ平均三割
ニ及フ消費率正ヲ行ヒタルモノモ本年七月以降ハ石炭事情ノ極度

ノ逼迫ニヨリ發電用炭モ大噸ニ削減サレタルヲ甚シキ困難
ニ當面シタルヲ以テ八月一日ヨリ消費率正ノ平均三割程度ヲ
強化シ實施シ更ニ近ク從來ノ實績主義ニ合理的ニ修正シ全体
トシテ約二〇%ノ消費率正強化ヲ實施スル豫定ナリ

輸送關係ニ於テモ新作鐵道ニヨリ軍費輸送下石炭入荷ノ極端
ノ不足ハ重大ナル影響ヲ及ボシツツアリ然モ輸送ノ軍費正
及戰時經濟上ニ於ケル重要ナル役割ニ當リ中支ニ於テモ今
輸送鐵路ノ打開ノタメ酒々ナル努力ヲ傾倒シ本年八月陸海兩
係ニ於テハ中支鐵道輸送委員會ノ設置及中支鐵道決戰態勢對
策トク關シタテ前著ハ鐵道輸送ヲ綜合的計畫ノ下ニ實施スル
爲メ陸海軍大使並及燕中鐵道ニヨツテ組織セラレタルモノ
シテ後著ハ津浦線石炭輸送ノ確保ヲ主目標トシテ軍官民一體
ノ鐵道輸送態勢ノ確立ヲ企圖セルモノナリ
流運ニ關シテハ汽船船腹ノ甚シキ不足ニ對處スル爲メ北支炭
鐵運ニヨリ外洋戎克ノ利用カ實行サレアル外機帆船ニヨリ輸
送モ甚ニ着手セラレ更ニ本年五月以來三十噸以下民船ノ自由

航行の許可せられ又大運河ニヨル北支炭輸送モ九月ヨリ開始
セラレタリ
斯クテ各般ノ經濟的要素ノ戦力化ノタノ輸送強化ニ凡ユル努
力ヲ傾注中ナルカ近ク民船ヲ更ニ一段ト活用スヘク計畫中ナ
リ
要之當事務所ニ於テハ皇國ノ運命ニ此ノ一戦ニ賭スルノ重大局
面ニ際シ(一)軍官民渾然一体ノ決戦態勢ノ急速ナル確立(二)凡ユル
物心ノ急速ナル戦力化(三)邦人指導並事務處理ノ適切ノ三點ヲ旨
トシ時ニ中支經濟力帝國ノ戦力増強ニ占ムル地位ノ重要性ニ鑑
ミ物的人的資源ヲ急速ニ直接戦力化セシムヘク諸般ノ經濟施策
ヲ進ムルト共ニ末稍的權限乃至ハ業務ノ所管區分等ニ因ハルル
コトナク自ら進ンテ軍側諸機關ト眞ニ表裏一体トナリ連繫協力
對新政策ノ實踐ニ努力中ナリ

第二項 決戦經濟施策

決戦經濟ニ處スル施策トシテハ、中支生産増強本部ノ設置及軍
官民合同ノ總力結集懇談會ヲ開催シ尙中支決戦經濟施策（案）ヲ
對上海方面緊急措置實施要領ニ準據シ策定ノ上管下公館長ニ説明
之カ方途ヲ指示セリ

一、中支生産増強本部ノ設置

中支自活物資ノ充足、收買用見返物資ノ生産確保ヲ目的トシ豫
テ計劃中ノ中支生産増強本部ハ八月三十一日各社各工場ノ責任
者ヲ招致懇談ヲ遂ケ九月一日交易大體一階ヲ事務所トシテ開設
式ヲ舉行セリ構成陣容ハ各生産業會ノ專門家ヲ網羅シ陸海軍ヨ
リモ參加ヲ求メ參與トシテ眞ニ軍官民一體ノ機關トラシムヘク
努メアリ設置要綱等ニ付テハ第二戰經濟部第一戰產業課第二項
ニ詳記シアリ

三、總力結集懇談會

現下ノ時局ニ鑑ミ在留邦人商社ノ急速ナル總力結集ヲ期シ十月
一、二、三ノ三日間ニ亘リ夫々中支振興關係會社、重要産業及
一般商社團体ニ區分總力結集懇談會ヲ開催シ軍官民ノ間ニ隔意

ナキ意見ノ交換ヲ行フト共ニ席上開陳サレタル各種隘路ニ付テ
ハ夫々打開ノ方法ヲ導シ多岐ノ成果ヲ收メタリ

本懇談會ニ於テハ總軍松谷參謀ノ現段階ニ於ケル世界狀勢ニ付
詳細ナル解説アリタル外陸軍、海軍、空軍、上海陸軍部、海軍武官
府、上海憲兵隊ヨリモ夫々代表臨席セラレタリ

三、中支決戦經濟施策案

本案ハ主トシテ當面實行中ノモノ又ハ實行スヘキ方策ニシテ十
一月六日中支公館長會同ニ於テ指示シ逐次實行ニ移シツツアリ

14

第一方 領

第一方 領 下ノ決戦準備ニ即臨スル日奇兵並ニ終自活自戦艦隊ノ確立

第二方 領

第二方 領 日華軍官民海陸一休ノ決戦態勢ノ確立

日華軍官民海陸一休ノ決戦態勢ノ確立

中朝備ノ積極的協力ノ獲得

物資政策

日領内ノ物資(日本領ノ物資支遣)

強固不墜ノ決意ヲ以テ實行スルコト

消費節約運動ノ強力展開 新製兵器運動ノ一トシテ取上グルコ

日企業準備優勢工場ヘノ集中生産等ニ依ル兵器製造ノ増進

代用燃料ニ依ル發動力増加ノ工夫推進(永電ニテ一部實現済)

日中両商人ノ不當利潤削減

日人ノ積極的行動ヲ促スニ必要ナル利潤ハ之ヲ許スモ不當ニ

過クル利潤ハ公ノ手ニ渡ムル如ク措置シ之ヲ製業的ニ活用ス

内債償還定公債ノ發行

主トシテ上流階級人ノ自發的運動ヲ俟ツモ戰艦艦隊ヲ行フコト

ト便法ニハ一部「物資」ヲ以テスルコト

出不發徵稅ノ感察(物資政策ニ伴フモノ)

四 經濟統制行爲(日中兩業統制行爲)ニ對スル軍律ノ適用

三 資材ノ徹底的相互配給(生産増進本部ニテ推進)

二 資材ノ確保(生産増進本部ニテ推進)

一 戰時的統制ヨリスル資材ノ活用(一列不居軍軍機ノ列軍機)

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」

「戰時的統制」